

2022年 第1回 21世紀金融行動原則

「持続可能な地域支援ワーキンググループ」

『農林水産業・食品産業におけるESG地域金融の課題と展望』

2022年8月25日

千葉興業銀行 アグリ・フードビジネスの取組みについて

株式会社千葉興業銀行 営業企画部
コンサルティング企画室 室長 國吉 威



ちば興銀

千葉興業銀行 アグリ・フードビジネスの取組みについて

1. 千葉興業銀行 コンサルティングバンクへの取組み
2. ちば興銀のアグリビジネス支援事例
 - (1) いちご農園事業の開業支援（事業多角化での地域活性化）
 - (2) 農園カフェ事業（事業再構築補助金活用による事業転換）
3. アグリビジネスの今後～これからの可能性と課題～

1. 千葉興業銀行 コンサルティングバンクへの取組み

【國吉 威 プロフィール】

- 千葉県出身
- 大学卒業後、1992年 千葉興業銀行に入行
- 国際部でのトレーニー業務経験（1年間）
- 東京支店取引先課長
- 柏地区法人営業部長代理
- 浦安地区法人営業部部長
- 2013年10月より、営業企画部コンサルティング企画室長（現任）

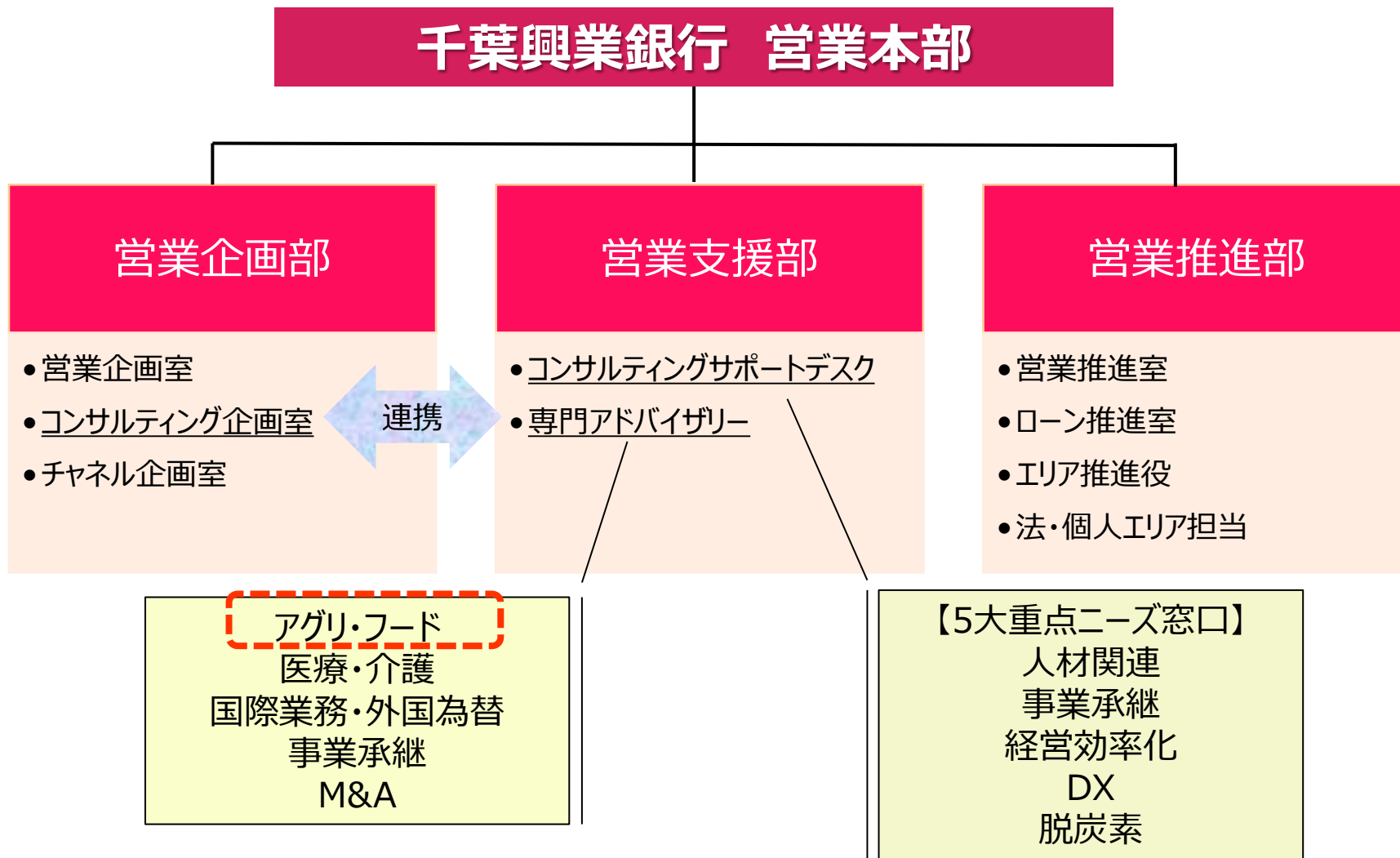
- 2016年4月、東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻入学
- 2018年3月、同大学院修了（経済学修士・PPP/PFI）
＜修士論文＞ 『地域金融機関の地域活性化へのアプローチ』
～地域活性化への地域金融機関の関わり方と提言～

- 東洋大学 PPP研究センターリサーチパートナー
- 千葉大学 客員産業連携研究推進コーディネーター（2018.10～）
- 千葉市 資産経営推進委員会委員（2018.7～2年間）
- 淑徳大学 地域連携センター 客員研究員



2018年6月、東洋大学大学院「地域金融論」での講義風景

営業本部 組織図



コンサルティング企画室の業務

・役務収益関連企画

【法人関連】

事業性評価関連企画

与信系案件商品企画（デリバティブ、シンジケートローン等）

ビジネスマッチング

各種コンサルティング

人材紹介業

【個人関連】

投資信託（ファンドラップ含む）

生命保険

相続等

・その他の企画業務

地方創生

産学官連携

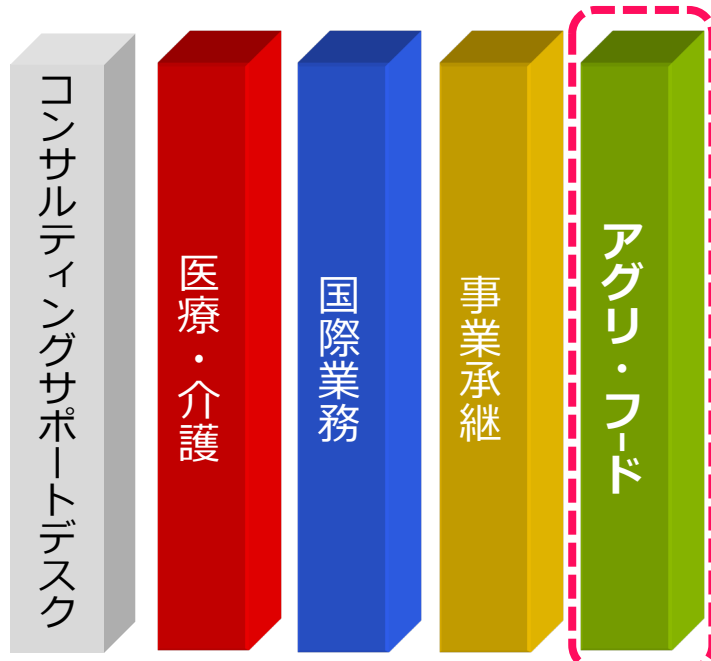
法人向け総合的ソリューションサービス提供

営業支援部
各専門チームと連携

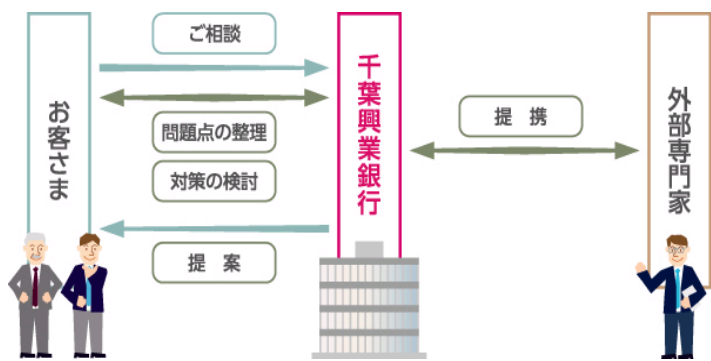


営業支援部コンサルティング支援室について

コンサルティング支援室の業務（法人）



- 【コンサルティングサポートデスク】
 - ・中小企業診断士業務
 - ・人材紹介業務
 - ・シンジケートローンアレンジャー業務 他
- 【医療・介護関連】
 - ・医療介護部門に係るコンサルティング
 - ・新規先開拓および既存先の取引深化
- 【国際業務関連】
 - ・国際業務・海外進出支援
 - ・外国為替業務
- 【事業承継/M&A関連】
 - ・事業承継スキーム構築 / M&A業務
- 【アグリ・フードビジネス関連】
 - ・農業/食に係るコンサルティング
 - ・農業融資における案件組成



営業支援部アグリ・フードチームについて

千葉県のアグリビジネスの展望について、意見交換から開始

<設置経緯>

- ・2009年 千葉県農林水産部と千葉興業銀行でアグリ事業の今後の可能性に関する勉強会を開催
県職員の方を講師に、ちば興銀の行員が勉強会に参加（毎月1回・半年間継続）
- ・勉強会の講師であった、千葉県農業普及員の谷口氏が定年を迎えるにあたり、嘱託として千葉興業銀行が採用
- ・2014年 日本政策金融公庫アグリ事業トレーニーに当行行員1名出向（1人目・1年間）
アグリビジネス全般を習得
- ・千葉県農業普及員のOB2名を追加で採用
- ・2018年 日本政策金融公庫アグリ事業トレーニーに当行行員1名出向（2人目・1年間）
- ・2022年7月現在、行員2名・嘱託2名の計4名で活動

体制構築10年目から徐々に
案件のマネタイズ化が実現

<主な業務>

- * 農業法人設立支援
- * 農業事業参入支援（多角化）
- * 事業（ビジネスモデル）転換支援
- * 農業・食に関するコンサルティング など

県庁の農業普及員OBと行員の専門性スキルの
強化により、コンサルティング業務を構築

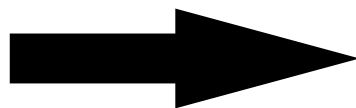
ちば興銀 コンサルティングバンクへの道のり

銀行を取り巻く環境の変化

マイナス金利の長期化

異業種からの銀行参入

コロナ禍・ウクライナ危機



どの銀行も課題を抱えている！

資金利益の減少



コンサルティング強化による収益強化

事業性評価「バリューサポート」～未来戦略の共有と徹底したコンサル強化～

2019年4月より開始した「バリューサポート」運営は、中核取引先の増加へ大きな成果
顧客との対話・課題共有をさらに進化させ、取組を強化

5大重点ニーズ

事業承継/M&A

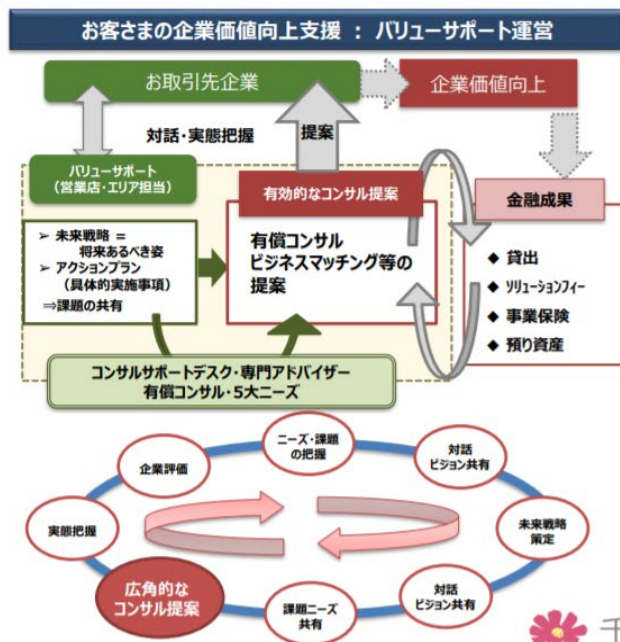
人材関連

経営効率化

DX (デジタル化)

脱炭素/SDGs

ちば興銀の強みに！



取組の進化

- 顧客との対話・課題共有をさらに進化させ、未来戦略の完全共有、全取引先を悩みの深さに応じた段階対応を実施
- より顧客の中長期的な経営目線で対話・深堀り強化のために、事業性評価シートを改定
- 情報プラットフォームにて蓄積した情報、デジタル技術を活用し、よりスピーディーかつ的確な提案へと進化

3年後の目指す姿

- ・未来・成長戦略の共有 = 全取引先へのバリューサポート完全実施
- ・事業性評価の進化：独自のコンサルティングモデルの確立



「バリューサポート」では、「5大重点ニーズ」を中心に、お客様と未来戦略の共有を図り、各種ソリューション提供に取り組んでいます。

2. ちば興銀のアグリビジネス支援事例





(1) いちご農園事業の開業支援
～事業多角化での地域活性化～



新昭和グループの概要・取組み

新昭和グループ 概要

商号	株式会社新昭和		
所在地	本社/千葉県君津市東坂田四丁目3番3号		
資本金	10億8,268万円		
設立年月日	1970年4月2日		
売上高		(売上高)	(経常利益)
	2021年3月期	22,654百万円	6,661百万円
	グループ合算	90,464百万円	12,197百万円

【会社沿革・抜粋】

1970年 有限会社 新昭和住宅 設立
 1992年 グループ3会社を統合
 株式会社 新昭和 設立

・君津、木更津地区を中心に安房地域全般の地域活性化に取組み、和蔵酒造買収等地元老舗企業存続にも注力。

・木更津ベリーについては、木更津金田地区の農業振興協力への強い要請もあり、まったくの新事業に積極的に取り組んだもの。

・農業法人アグリードでは野菜工場（葉物）に取り組む。

- ・住宅事業を核に事業拡大＜創業・成長期＞
- ・地域経済の縮小回避に向けた多角化＜成熟期＞
 地元老舗の酒造会社買収 等

**企業規模の拡大から
 地域社会活性化のための課題解決へ取組む**



合同会社 木更津ベリー（新昭和グループ） いちご観光農園

農園のご案内

POINT
1

近い

アクアライン
木更津金田IC
から約4分で到着

POINT
2

気軽

必要なものは
当日お渡し
手ぶらでお越しください

POINT
3

キレイ

シート敷きのハウスは
靴が汚れず雨でも安心
多機能トイレも完備

ちば興銀・アグリチームが支援
2022年1月4日
GRAND OPEN



【合同会社 木更津ベリー 会社概要】

商号	合同会社 木更津ベリー	所在地	〒292-0005 千葉県木更津市畔戸358番（金田漁港近隣）
代表社員	株式会社 新昭和	資本金	10,000,000円
設立	2020年10月14日	事業内容	農園事業

アクアラインからほど近くアクセスがよい

当初5,000㎡から2倍の
10,000㎡へ増床。



出典：株式会社 新昭和 ホームページより

2022年3月は、ピーク時で、一日800人の来客あり！

KISARAZU New Strawberry Farm!

東京から一番近いいちご園！

東京湾アクアラインで品川から約39分
東京から約45分

近い! アクアライン 木更津金田ICから約4分!

おいしいしあわせビー・マイ・ベリー

キレイ! 靴が汚れないシート敷きハウス 多機能トイレ完備

気軽! 必要なのは当日お返し手ぶらでOK

観光農園【Bee my Berry(ビー・マイ・ベリー)】は、安心・安全・美味しいいちごが実った東京から一番近い「いちご狩り農園」です。アウトレット、温泉、牧場、キャンプなど、楽しみ満載の木更津に出かけたら、ぜひ立ち寄りください。

いちごハウス
4つのハウス内は蓋が汚れないシート敷き。ベビーカーや車椅子も汚れません。雨の日も安心してお楽しみいただけます。

ア種類のいちご
お楽しみいただけるいちごの種類は、お楽しみください！

- 紅ほっぺ
- 東京愛ランドベリー
- 恋みのり
- 桃薫
- おいCベリー(おいしいCベリー)
- 天使のいちご
- かおり野

料金のご案内 30分 食べ放題

期間	大人	3歳未満
1月-2月	2,400円	1,600円
3月-5月	2,200円	1,400円
6月-9月	2,000円	1,200円

営業時間とお休み
完全予約制となっております

午前	9:00~11:30
午後	13:00~15:30
閉園	16:00
休業日	水曜日

※12:00~13:00はボンダンスの4時開始専用コース
※休園日は収容日によって異なります



いちごが大好きな、女優・吉永アユリさん。

今回訪れたのは、2021年春オープンしたばかりのいちご狩り農園【Bee my Berry】だ。

6種類のいちごが30分食べ放題という木更津で数少ないスポットを先取りして、体験してもらった!

期間	大人	3歳-5歳	3歳未満
1月-2月	2,400円	1,600円	無料
3月-5月	2,200円	1,400円	無料
6月-9月	2,000円	1,200円	無料

料金のご案内 30分 食べ放題

営業時間とお休み
完全予約制となっております

午前 9:00~11:30
午後 13:00~15:30
閉園 16:00
休業日 水曜日

※12:00~13:00はボンダンスの4時開始専用コース
※休園日は収容日によって異なります

高設栽培、足元も汚れず手ぶらでOK

【ご予約・お問合せ】

電話 080-7477-7787

Instagram Twitter

出典：地元情報誌 チーマガ より

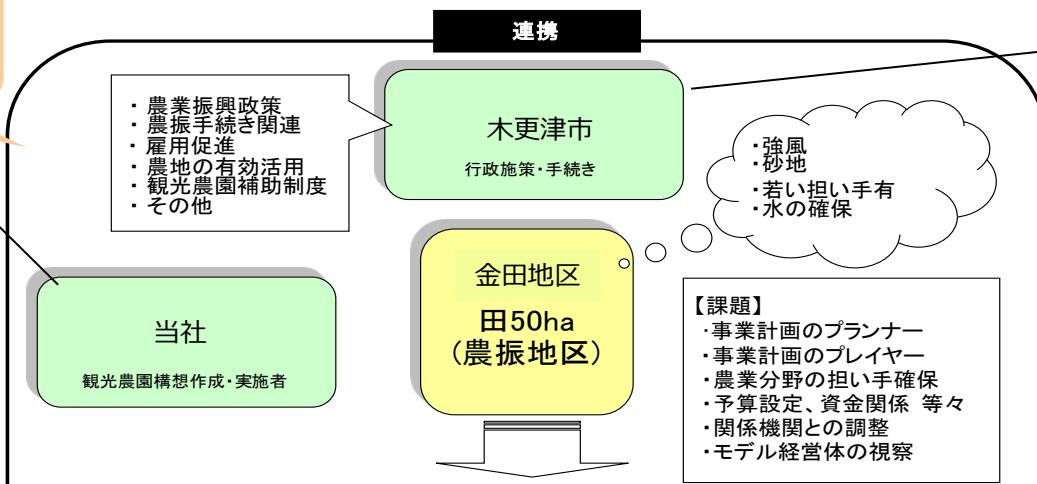
いちご観光農園提案における官民連携スキームの支援

産官金連携

～ 観光いちご園をベースにした有効活用プラン(案) ～

アグリチーム
 ・日本政策金融公庫
 農業事業出向経験者 2名
 ・県農業普及員OB 2名

当社は県内ディベロッパー
 CSRや地域貢献に注力
 多角化によるいちご参入



「農地」については活用の制約が多く、行政との連携は不可欠。当社と行政の橋渡し役を当社が担ったもの。

行政：農地の有効活用を希望

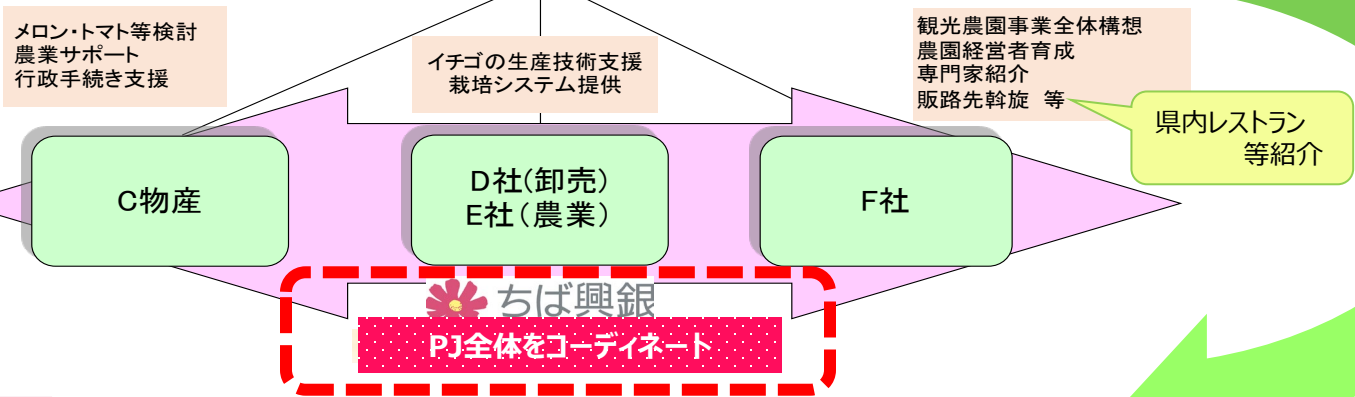
当社：両者の橋渡し役

当社：新事業・価値創造による地域活性化


観光農園の運営ノウハウはないが地域貢献したい

雇用確保・増加 (自治体の要望)
 最盛期は30人、通常20人を雇用

観光農園



新たなコンサルティング【アグリビジネス+観光需要喚起】



(2) しいたけ農園・カフェ開業支援 ～事業再構築補助金の活用による事業転換～



かわきたファームの概要と課題・対応策

かわきたファームの概要

商号	株式会社かわきたファーム
所在地	千葉県千葉市 中央区新千葉3丁目5-14-2
圃場	八街市、千葉市
生産品目	菌床しいたけ、露地野菜

【会社沿革・抜粋】

2003年 中国産しいたけ菌床輸入業として創業
2008年 農業法人として株式会社かわきたファーム設立
2022年 菌床の完全国産化を開始

かわきたファームの特徴

- ・千葉県で14,000㎡のしいたけ生産設備を有しており県内でもトップクラスの生産能力を誇る。
- ・ビジネスモデルは「B to B」で規格審査の厳しい大手スーパーへも卸している。
- ・主業はしいたけ栽培だが関連会社で東京のカフェを買収し運営するなど事業意欲は非常に旺盛。



コロナ禍での課題発生と対応策

- ・順調に事業を拡大してきたが新型コロナウイルスの影響をまともに受け、売上減少。
- ・飲食店向けに卸されていた商品が行き場を失い、当社が卸しているスーパーへ一挙に流れ込んだ。
- ・供給過剰となった農産品は価格下落を避けられなかった。



* 販売チャネルの見直し・ブランド価値引上げ・ロイヤリティの構築のため古民家農園カフェを中心とする「**B to Cチャネルの構築**」を決意。

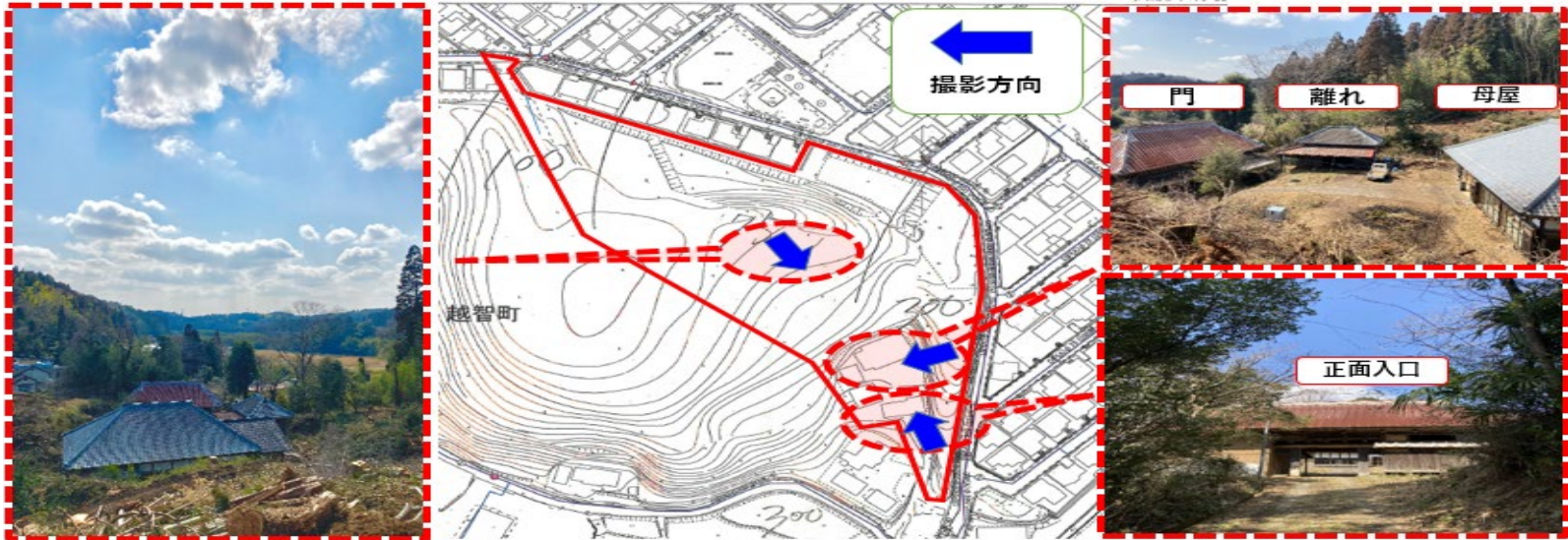
⇒ちば興銀が支援！

古民家農園カフェの概要（事業転換⇒事業再構築補助金の活用・採択）

古民家農園カフェへの事業転換

従来のビジネスモデルからの事業転換の要望をヒヤリング
「B to B」から「B to C」へ
ちば興銀は事業再構築補助金申請・オウンドメディア活用を全面サポート

【現況外観】



【改装イメージ】



所在地	千葉県千葉市 緑区越智町
敷地面積	15,000㎡
母屋面積	174㎡
その他	<p>コンセプトは「住宅街のすぐ横の大自然に囲まれたポツンと古民家で採れた新鮮野菜を味わう」</p> <p>飲食のほかに広大な敷地面積を活用した季節の草花が楽しめる散歩スペースやシタケの摘取り場所を整備。</p> <p>地方に小旅行にきたような空間演出を行い、コロナ禍でも旅行に来たようなつろげる空間づくりを行う。</p>

古民家農園カフェ：かわきたファーム【ビジネスモデルの転換】

シイタケ農園として経営「B to B」



安定した販売先

大手・地元スーパー

コロナ・ショック！
販売激減！
ビジネスモデル見直しへ

ビジネスモデル転換の必要性！

農園カフェへの転換「B to C」

シイタケ
摘採り

野菜
摘採り

シイタケ農園

散策

カフェ
食事

千葉市内近郊でありながら、シイタケ農園を
中心に非日常的な世界観のカフェを実現！

2023年6月開園予定！

シイタケ農園を中心とした
サステナブルなカフェ経営へ

ちば興銀

ビジネスモデル転換の要望をヒヤリング
事業再構築補助金の活用を提案
計画策定・申請を全面サポート

・ホームページ構築や
SNS等のオウンド
メディア対策もサポート

コンサルティング【補助金活用・ビジネスモデル転換】+ファイナンス（農業信用基金協会融資）

3. アグリビジネスの今後

～これからの可能性と課題～



千葉県のアグリビジネス～農業産出額は全国上位～

千葉県は農業産出額・生産農業所得額で全国上位

千葉県農業生産の位置（令和元年）

項目	順位	1	2	3	4	5	全国
農業産出額 (億円)		北海道 12,558	鹿児島県 4,890	茨城県 4,302	千葉県 3,859	宮崎県 3,396	88,938
生産農業所得 (億円)		北海道 5,368	鹿児島県 1,481	茨城県 1,470	熊本県 1,442	千葉県 1,233	33,215

(資料：令和元年農業産出額及び生産農業所得)

- ・千葉県の農業産出額は全国4位であり、有数の農業県である。
- ・県産農林水産物のイメージアップと需要拡大のため、千葉県知事のトップセールスや、新品種開発等も盛んであり、農業は千葉県を代表する産業と言える。

出典：千葉県農林水産業の動向－令和3年度版－

千葉県のアグリビジネス～野菜・果樹等の生産額は全国上位多数～

野菜・果樹・農産ランキング（令和2年産） **千葉県**

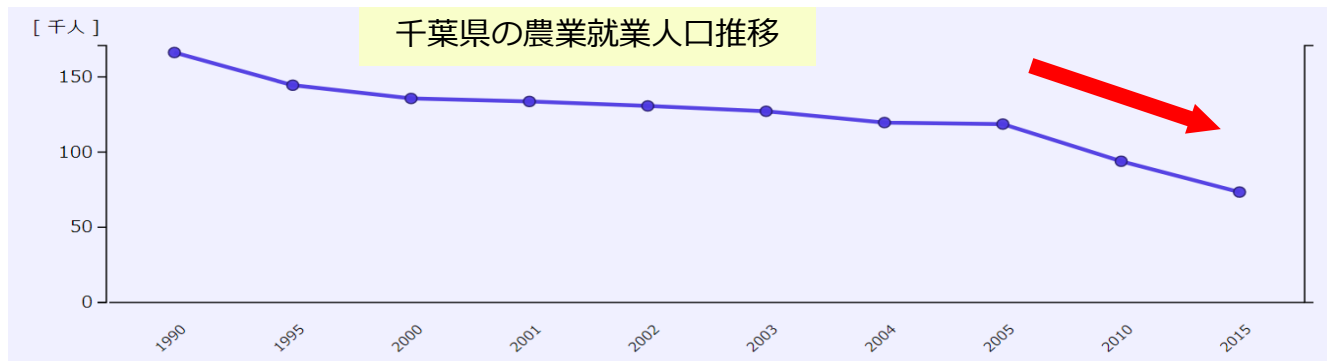
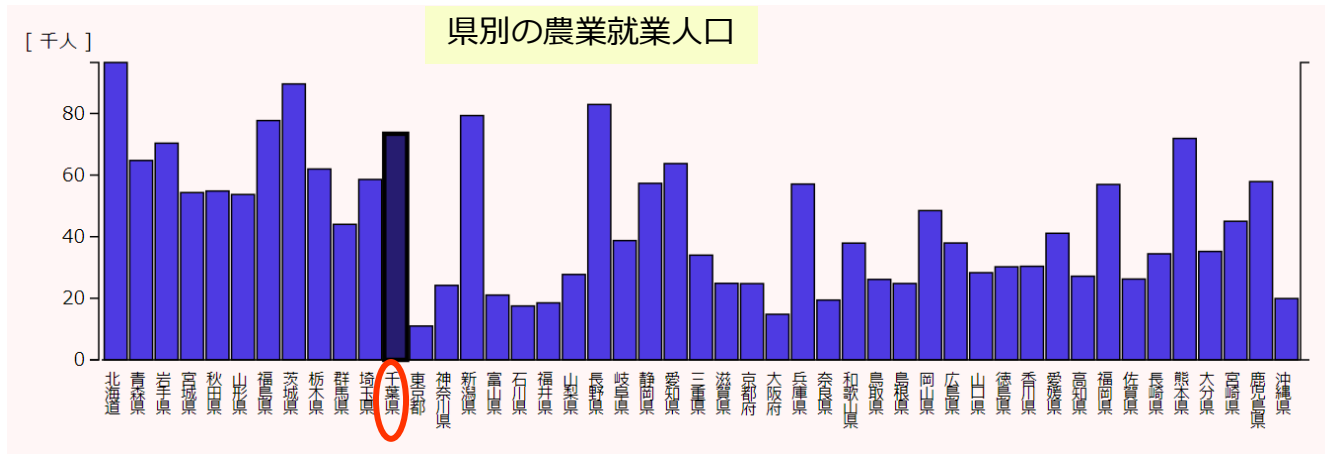
全国順位	品目
1位	だいこん、さやいんげん、かぶ、マッシュルーム、しゅんぎく、なばな、みつば、かいわれだいこん、落花生、日本梨
2位	ねぎ、さつまいも、にんじん、すいか、さといも、とうもろこし、ししとう、そらまめ、しょうが、びわ
3位	えだまめ、ほうれんそう、キャベツ、やまのいも、しろうり
4位	ばれいしょ（じゃがいも）
5位	ごぼう、パセリ、トマト、きゅうり、にんにく
6位	-
7位	こまつな、かぼちゃ
8位	メロン、セルリー、れんこん、非結球つげな
9位	いちご、米、きょうな
10位	チンゲンサイ、にら

県勢データ：農業産出額 全国4位、農業生産関連事業年間販売額 全国3位
千葉県のアグリビジネスに関するポテンシャルは非常に高い

出典：千葉の農林水産物 | 千葉県オープンデータサイト

千葉県のアグリビジネスの課題①

農業就業人口の減少



* 千葉県の農業就業人口は年々減少の一途を辿っている。

出典：農林業センサス

千葉県のアグリビジネスの課題②

荒廃農地の増加

荒廃農地の発生・解消状況に関する調査（属地）（千葉県）（単位：ha）

区分	再生利用が可能な荒廃農地 A分類		再生利用が困難と 見込まれる荒廃農地 B分類		荒廃農地 計	
		うち農振農用地		うち農振農用地		うち農振農用地
平成 22 年	9,000	4,222	1,492	365	10,492 (287)	4,587 (174)
平成 27 年	9,689	4,332	3,804	680	13,492 (617)	5,011 (352)
平成 28 年	5,591	2,707	6,142	1,552	11,733 (833)	4,259 (412)
平成 29 年	5,945	2,981	6,785	1,633	12,730 (316)	4,614 (186)
平成 30 年	6,086	3,036	6,917	1,682	13,003 (303)	4,718 (191)
令和元年	6,199	3,167	6,922	1,733	13,120 (341)	4,901 (208)

（資料：農地・農村振興課公表）

（注）「A分類」：抜根、整地、区画整理、客土等により再生することにより、通常の農作業による耕作が可能となると見込まれるもの（農地法第32条第1項第1号に該当する農地）

「B分類」：森林の様相を呈しているなど農地に復元するための物理的な条件整備が著しく困難なもの、又は周囲の状況から見て、その土地を農地として復元しても継続して利用することができないと見込まれるものに相当するもの

※（ ）内は、営農再開や保全管理による解消が確認された土地

- ・農家数、農業従事者の減少により、荒廃農地の増加が地域課題となっている（10年で1.3倍の増加）。
- ・農業従事者を増加させる取組みにより、荒廃農地の増加への歯止めをかけていくことも可能となる。

出典：【千葉県農林水産業の動向－令和3年度版－】

千葉県のアグリビジネス～増える異業種参入～

実績から見る農業参入の目的

- **雇用問題**
 - ・ シニア従業員のセカンドキャリア支援、障がい者の活躍の場を確保
- **地域貢献**
 - ・ 耕作放棄地の解消、地域に根差した事業創出、SDGs
- **農福連携**
 - ・ 就労支援事業との連携、福祉（介護）事業での活用
- **本業とのシナジー**
 - ・ 商品原料の安定調達・差別化、企業イメージアップ

農業参入相談事例

- ・ 受注の波がある建設業が仕事の平準化を図りたい・・・
- ・ 食品関連業で、他社との差別化を図りたい・・・

農業参入希望企業は多いがノウハウがない・・・
そこを銀行が支援！ニーズはまだ多い！
（当行支援事例も同様のニーズは多い）

* 雇用問題では人材の有効活用、特に高齢者の活用等があり、地域貢献では、耕作放棄地の解消等の事業創出に起因するものが多い。

⇒**コロナ禍・ウクライナ危機を経て、人材の有効活用や地域活性化が課題となっているケースが増加**

* その他では、農福連携や本業とのシナジー（**企業のイメージアップ・SDGs**）等がある。

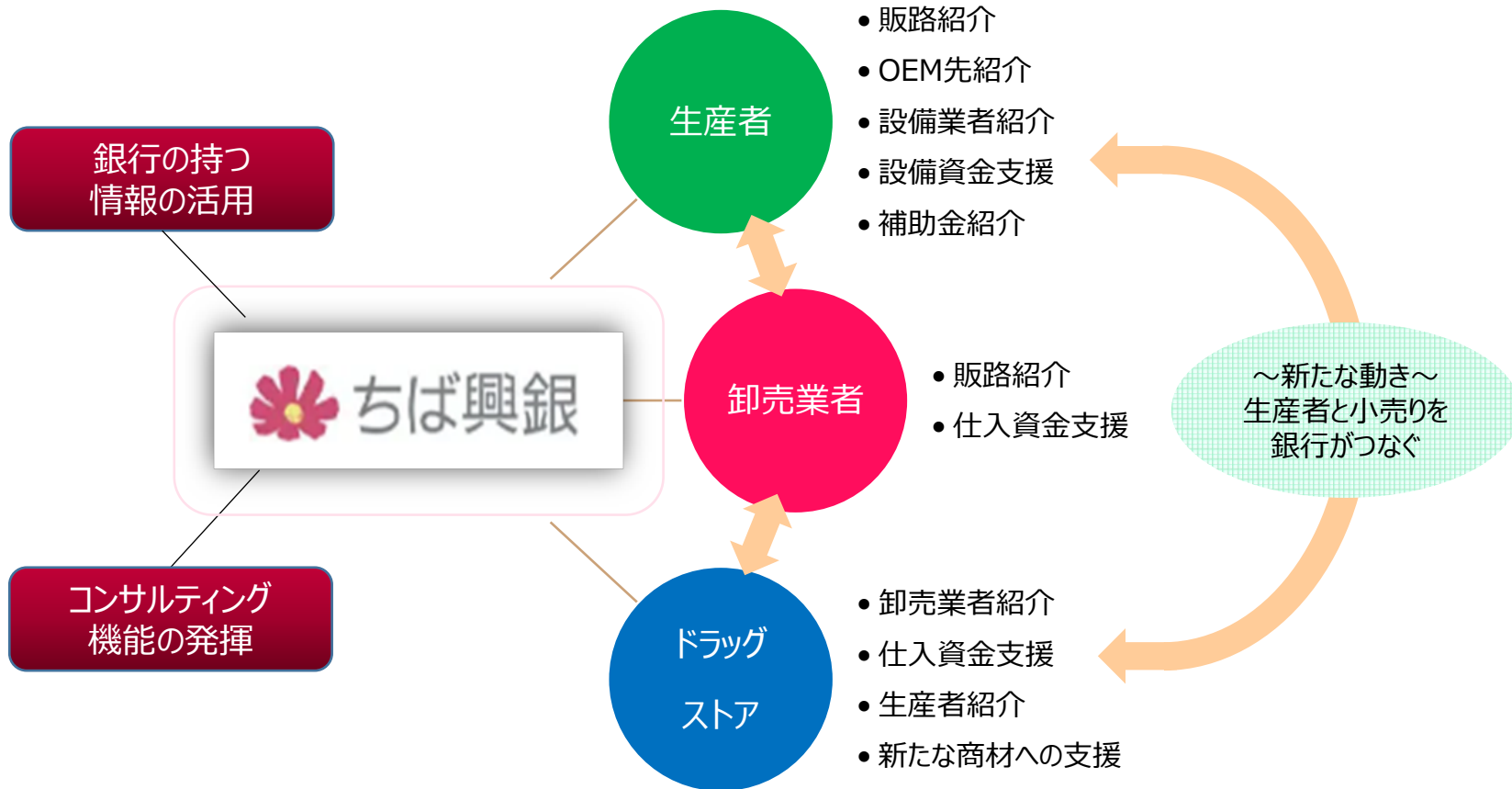
出典： 日本政策金融公庫及びちば興銀アグリ支援実績より



ちば興銀がアグリビジネスで果たしていく役割①

～地方銀行の持つ情報・顧客を活用したコンサルティング・マッチング～

例：青果を売りたい生産者 × 青果を卸したい卸売業者 × 青果の欲しいドラッグストア

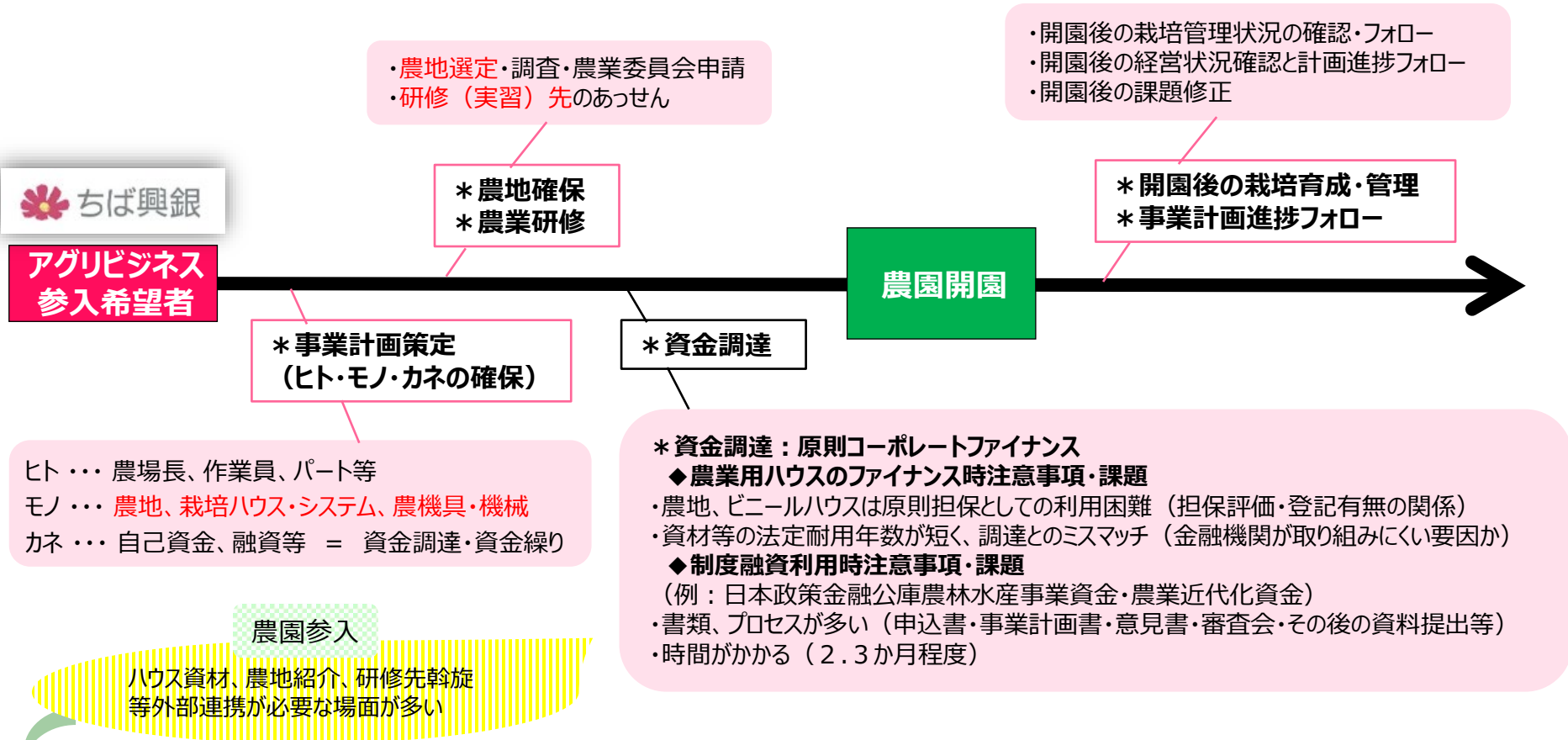


銀行だからこそできるファイナンスにニーズに応じた情報提供・マッチング、これらを組み合わせた価値創造により、事業の継続性（サステナビリティ）に取り組む！

ちば興銀がアグリビジネスで果たしていく役割②

～アライアンス・提携先活用によるコンサルティング・マッチング～

例：農園開設におけるコンサルティング・マッチング支援



アグリビジネスは、コンサルティングの幅が広く、事業の各ステージで外部連携を効果的に活用することが必要！
農園事業等、アグリ事業参入において計画進捗等のフォローが事業継続性を図るうえで重要となる！

ご清聴ありがとうございました。



ちば興銀

©2022 株式会社 千葉興業銀行

本資料は、研修会を目的として作成されたものであり、貴機関のリスク・検討すべき事項等を網羅的に示唆するものではありません。また、当行が信頼に足り且つ正確であると判断した情報に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。尚、本資料は貴機関に対して取引を勧誘することを目的としておりません。本資料は、上記目的に作成されたものであるため、その内容を当行の了解なしに貴機関以外の閲覧に供することは、ご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

This document has been prepared by The Chiba Kogyo Bank Ltd. (CKB) for information purposes only. Although the information contained herein is based on sources that CKB believes reliable. CKB is not responsible for any losses or damages incurred by your relying on such information and opinion. This document shall not be construed as and does not form part of an offer, nor an invitation to offer, nor a solicitation or recommendation to enter into any transaction with CKB.

This document and any information contained herein are made out for this workshop and may not be reproduced or distributed in whole or in part without our prior written consent.